



避難時の心得

みんなで助け合って避難を
 避難するときは、複数で行動し、隣近所のお年寄りや手助けが必要な方に声をかけ、協力して避難しましょう。

動きやすい恰好での避難
 長靴やサンダルは危険です。運動靴をき、両手が自由になるよう持ち物はリュックサック等に入れて避難しましょう。

流れのある場所は近づかない
 ゆっくりとした流れでも、むざむざの高さになれれば、河川や用水路など流れのある場所に近づかないようにしましょう。橋にも注意が必要です。

浸水している場所は注意が必要
 浸水している場所は足元が見えず側溝などに転落するおそれがあり危険です。長い棒などで確認しながら歩きましょう。

掲載内容について

このハザードマップは、神奈川県によって指定・公表された土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域の位置と、境川、柏尾川、引地川、引地川、目久尻川、小出川、小糸川、不動川、打戻川、滝川、白旗川、一色川の洪水浸水想定区域を合わせて示したものです。

土砂災害特別警戒区域 (通称: レッドゾーン)
 土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地崩壊危険区域の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域と認められる区域

土砂災害警戒区域 (通称: イエローゾーン)
 急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域と認められる区域

急傾斜地崩壊危険区域
 急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域と認められる区域

洪水浸水想定区域の凡例

家屋倒壊等氾濫想定区域
 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水浸水深
 20.0m以上の区域 (市域内に該当箇所なし)
 10.0m~20.0m未満の区域
 5.0m~10.0m未満の区域
 3.0m~5.0m未満の区域
 0.5m~3.0m未満の区域
 0.5m未満の区域

施設の凡例

指定緊急避難場所 (洪水・がけ崩れ)
 指定緊急避難場所

指定避難所
 指定避難所

【地区防災拠点本部】
 【地区防災拠点本部】

消防署 (出張所、分署)
 消防署

指定緊急避難場所 (洪水・がけ崩れ) 指定緊急避難場所は各災害に対して想定水位以上の高さに避難スペースがあります

施設名	所在地	施設名	所在地	施設名	所在地
遠藤市民センター	遠藤2984-3	87-3009	滝の沢小学校	遠藤641-3	遠藤神明5-6-10
秋葉台中学校	遠藤2000-2		善行市民センター	善行1-2-3	81-4431
慶應義塾大学	遠藤5322		善行小学校	善行団地6-1	
秋葉台文化体育館	遠藤2000-1		大越小学校	善行坂1-19-1	
六会市民センター	亀井野4-8-1	81-6677	聖園女学院	みその台1-4	
俣野小学校	西俣野2660		県立総合教育センター	善行7-1-1	
亀井野小学校	亀井野3-1		明治市民センター	辻堂新町11-23	34-3444
天神小学校	天神4-13-14		羽南中学校	羽南4-13-14	
石川小学校	石川4-19-1		藤沢公民館	本町11-12-17	22-0019
六会小学校	亀井野550		大道小学校	朝日町3-13	
六会中学校	亀井野1000		大道小学校	大道1020	
県立藤沢工科高等学校	今田744		小糸小学校	本町1-9-1	
北部環境事業所	石川2168		藤沢小学校	本町1-9-1	
藤沢市まちづくり協会ビル	円行2-3-17		藤沢南高等学校	西富1-7-1	
湘南大庭市民センター	大庭5406-1	87-1111	本町小学校	本町2-6-17	
小糸小学校	大庭5062-1		第一中学校	鶴沼神明5-10-9	

避難行動を確認しましょう!

立退き避難 (水平避難)
 避難所等
 避難所等

屋内安全確保 (垂直避難)
 避難所等
 避難所等

河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難 (水平避難) は災害が発生する前に行うことが重要です。

災害の危険がない場所または影響が少ない場所や、屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まりより高いところへ移動するなど、屋内安全確保 (垂直避難) をしましょう。

ハザードマップで自宅などを確認し、下図から大雨時取るべき行動を確認しましょう。

※ここに示すのは、大雨時取るべき行動であり、絶対的なものではありません。身の危険を感じたら速に行動をとってください。

ステップ1 あなたの自宅の位置はどの色? (黄色は水、赤は土砂災害)

ステップ2 あなたの自宅は何階建て? (黄色は水、赤は土砂災害)

ステップ3 あなたの自宅の構造はどのよう? (黄色は水、赤は土砂災害)

家屋倒壊等氾濫想定区域 (水) に自宅がある方

5.0~10.0m未満 (3階以上水のおそれ)
 3.0~5.0m未満 (2階部分まで水のおそれ)
 0.5~3.0m未満 (1階部分まで水のおそれ)
 0.5m未満 (床下浸水のおそれ)

5階以上
 1~4階
 3階以上
 1~2階
 2階以上
 1階

自宅の外へ (水平避難)
 洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。災害発生前の早めの避難が必要です。

自宅に待機 (垂直避難)
 自宅の安全な場所に待機することが可能です。ただし、川の近くなど不安がある方は自宅の外へ避難しましょう。

はい
 いいえ

万が一、逃げ遅れたときには

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の3階以上に逃げましょう。

垂直避難

指定緊急避難場所
 指定緊急避難場所は、災害が起きた後、安全確保のために避難する場所です。

指定避難所
 指定避難所は、災害によって自宅での生活が困難になった際に、一時的に避難生活をする場所です。

要配慮者利用施設については、「藤沢市地域防災計画」の各冊目第3部 (第19章 要配慮者利用施設) の名称及び所在地を参照してください。
<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bousai/bosai/bosai/taisaku/kekaku/tokubousaikaika.html>

作成したハザードマップには、背景図として都市計画図 (令和2年度作成) を使用しました